

戦

評

大会名

第38回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

期日：平成 30年 6月 24日

男子・決勝

会場名：クロスパルこが

主審：平井 茂俊

副審：岸川 香輝

記録：都甲 和彦

補助員：千嶋 大野城

試合結果

大川ジュニアウイング 2 [21-10 / 21-10 / -] 0 太宰府飛翔

戦評

試合時間 0 時間 32分

男子決勝はどちらも1枚エースの打ち合いと行ったが、1セット目は大川2番のサーブが走り4-0と、一気に大川の流れとなった。大川のエース3番の強打と全員のサーブが走り、サーブカットが苦しんで飛翔は思うような攻撃ができず、連続サーブミスで流れをつかめず、1セット目は21-10で終了。2セット目は太宰府飛翔のエース2番のスパイクとサーブで好調なスタート、序盤はエースの打ち合いで互角の戦いとなったが、中盤大川の5番のサーブが走り5連続得点、その後もエース3番の強打で得点を重ね、7-8とリード。太宰府飛翔キャプテン1番のサーブポイントが決まるも、大川のエース3番の強打2番のサーブポイント、最後は3番の強打で大川ジュニアウイングが全国大会出場を決めた。

※ 7~10行にまとめること。

戦評者：富久 昌美子

戦 評

大会名 第38回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

期 日 : 平成 30年 6月 24日

女子・決勝

会場名 : クロスパルこが

主 審 : 藤野 真由美

副 審 : 不動 忠輝

記 録 : 一中 美佐

補助員 : チーム 粕屋

試合結果

粕屋 JVBC 2 $\begin{pmatrix} 21 - 10 \\ 21 - 18 \\ - \end{pmatrix}$ 0 筑後北バレーボールスポーツクラブ

戦 評 試合時間 1 時間 15 分

粕屋のエース③の切味の良リスパイクが筑後北のコートに打ち込ま
れていく。粕屋のセッター⑤はエース③にトスを集中させ筑後北を苦しめ
る。筑後北も①②④にトスを回し、多彩な攻撃で攻めていく。しかし、粕屋
のコートに落とせない。徐々にリードを広げ、粕屋が1セット目を制した。

2セット目は筑後北の安定したサーブで真逆を喰い、リードしていく。粕屋
③の攻撃に筑後北④のブロック、キャプテン②のレシーブで粘り強く守っていく。
粕屋の攻撃が筑後北のライトバックを狙ってくる。筑後北はサーブで
粕屋との真逆を繰り返してきた。粕屋も必死でボールをつなぎ、エース③が
攻撃するリズムを崩さない。最後は、筑後北①のサーブを粕屋が拾い上げ、
エース③にトスが上がり、筑後北のブロックを振り切、スパイクが決まった。

粕屋が第38回大会の優勝を決めた。

※ 7~10行にまとめること。

戦 評 者 : 森 重 智 江

戦

評

大会名

第38回 全日本バレーボール小学生福岡県大会

期日：平成 30年 6月 24日

男女混合・決勝

会場名：クロスパルこが

主審：待鳥昌光

副審：永田和昭

記録：福田幸太

補助員：太宰府市のジュニアチーム

試合結果

三橋

2

$$\begin{pmatrix} 21 - 9 \\ 21 - 19 \\ - \end{pmatrix} 0$$

美和台

戦評

試合時間

0 時間 38 分

絶対的エースを擁する三橋と全員バレーの美和台が戦った混合の部決勝戦は、三橋のエース①番のいきばりの大爆発で幕を開けた。第1セットの得点のうち、実に7点を稼ぎ出した三橋の番は、打点の高さと持ち前の強打力を遺憾なく発揮し、中盤の5連続ポイントなど美和台につけ入る隙を与えず、12対9の大量リードを保って第1セットを先取した。

第2セットに入ると一転、美和台は、①③④⑤番がまんべんなく攻撃を操り出して得点を重ね始め、最大の点差を広げるなど三橋に先行した。中盤から終盤にかかると、③番の強打で得点を重ねる美和台に対して、三橋は巧みはフェイントを折り混ぜる①番の活躍で点を盛り返し、19対19で美和台に追いつくと、連続得点で一気に逃げ切り、2年振りの全国大会の切符を見事手中に収めた。

※ 7～10行にまとめること。

戦評者：永田 近